

No title available

Publication number: JP2013637 (U)

Publication date: 1990-01-29

Inventor(s):

Applicant(s):

Classification:

- international: **A47K3/32; A47K3/28; E04C2/52; E04H1/12; A47K3/28; E04C2/52; E04H1/12; (IPC1-7): E04C2/52; A47K3/23; E04H1/12**


- European:

Application number: JP19880090875U 19880708

Priority number(s): JP19880090875U 19880708

D1

Also published as

 JP2524556 (Y2)

Abstract not available for **JP 2013637 (U)**

Data supplied from the **esp@cenet** database — Worldwide

⑫ 公開実用新案公報 (U)

平2-13637

⑤ Int. Cl. ⁵E 04 C 2/52
A 47 K 3/23
E 04 H 1/12

識別記号

3 0 1

庁内整理番号

7904-2E
7705-2D
7606-2E

⑬ 公開 平成2年(1990)1月29日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑭ 考案の名称 シャワーパネル

⑰ 実 願 昭63-90875

⑱ 出 願 昭63(1988)7月8日

⑲ 考 案 者 川 勢 剛 之 神奈川県茅ヶ崎市本村2丁目8番1号 東陶機器株式会社
茅ヶ崎工場内⑲ 考 案 者 白 鳥 昌 己 神奈川県茅ヶ崎市本村2丁目8番1号 東陶機器株式会社
茅ヶ崎工場内⑲ 考 案 者 金 田 剛 神奈川県茅ヶ崎市本村2丁目8番1号 東陶機器株式会社
茅ヶ崎工場内

⑳ 出 願 人 東陶機器株式会社 福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号

㉑ 代 理 人 弁理士 早川 政名

⑳ 実用新案登録請求の範囲

洗い場に設けたカウンター部上方に位置するシャワー金具取付部をパネル本体の壁面部から洗い場に向けて突設形成したことを特徴とするシャワーパネル。

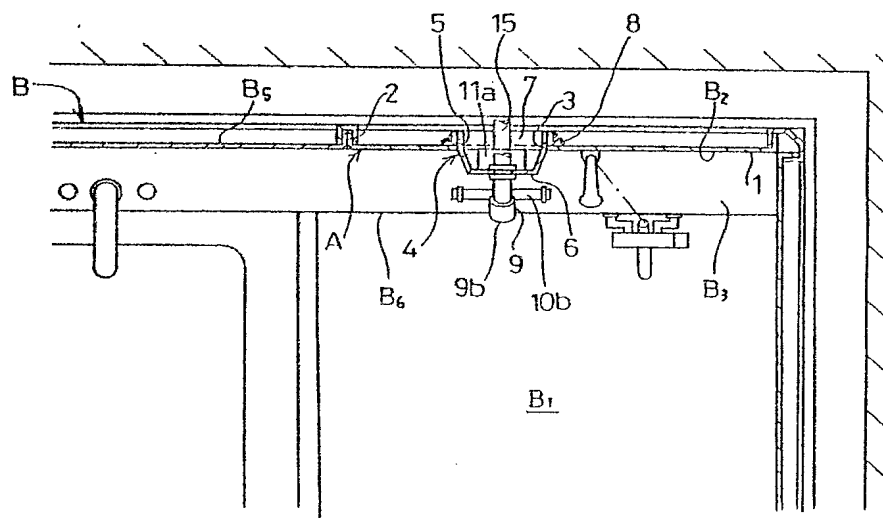
図面の簡単な説明

図面は本考案の一実施例を示し、第1図はシャワーパネルの使用状態を示す横断平面図、第2図

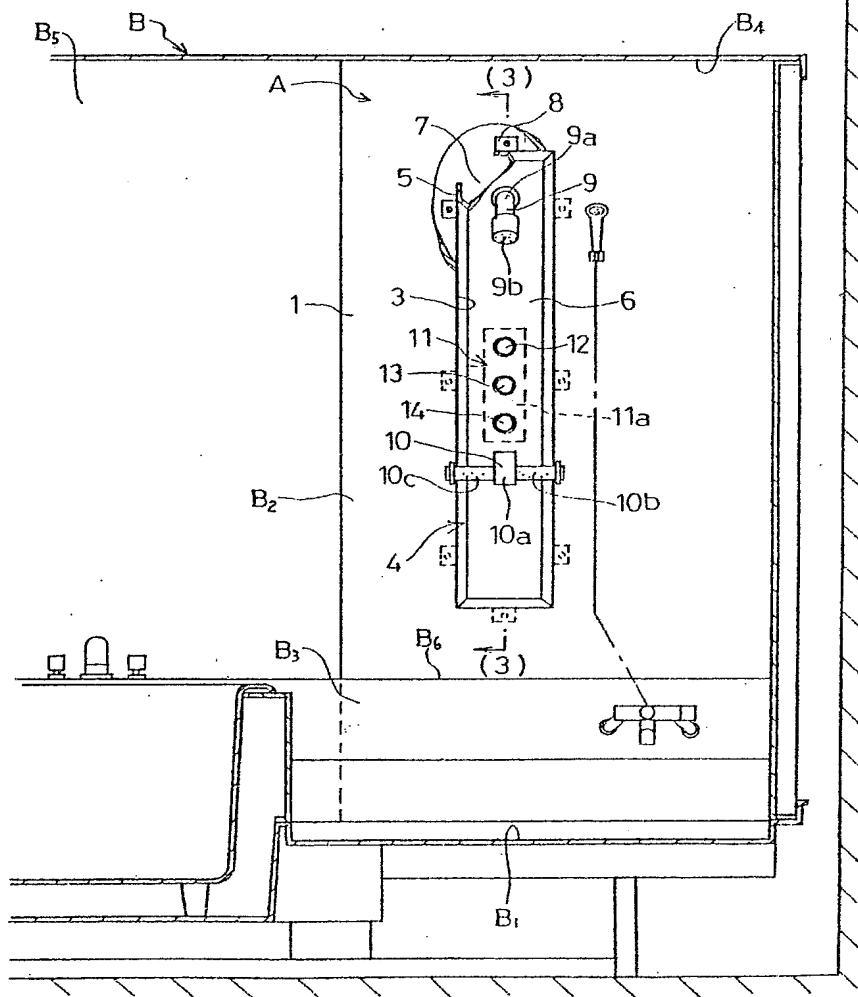
は第1図の一部切欠正面図、第3図は第2図の3-3線拡大断面図、第4図はシャワー金具取付部の斜視図で一部切欠して示す、第5図は他の実施例を示すシャワーパネルの使用状態斜視図、第6図は従来の壁パネルの使用状態図である。

尚、図中、洗い場：B₁、カウンター部：B₅、シャワー金具取付部：4、パネル本体：A、壁面部：1とする。

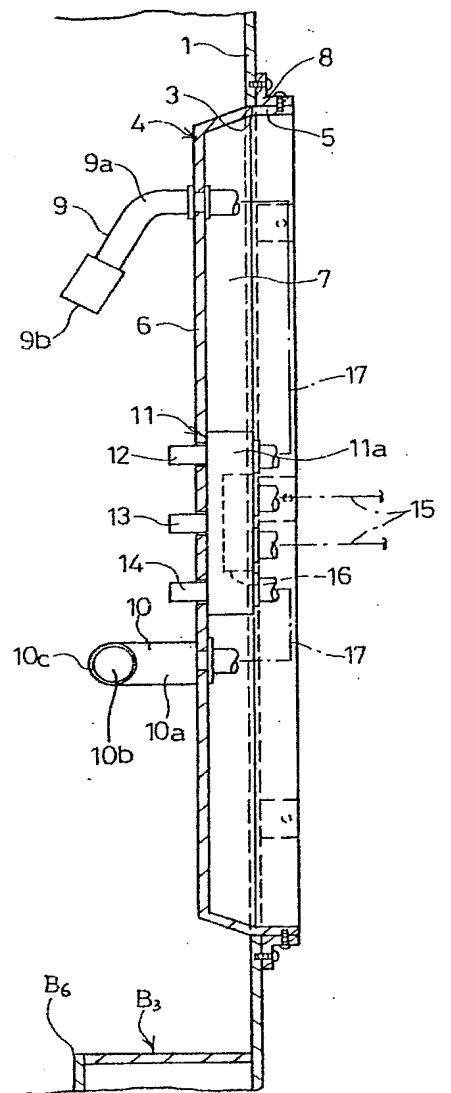
第 1 図



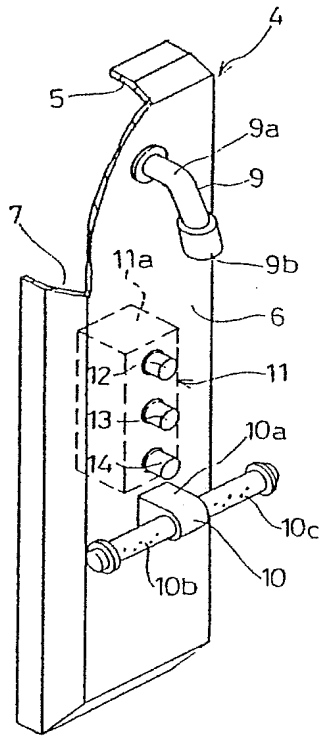
第 2 図



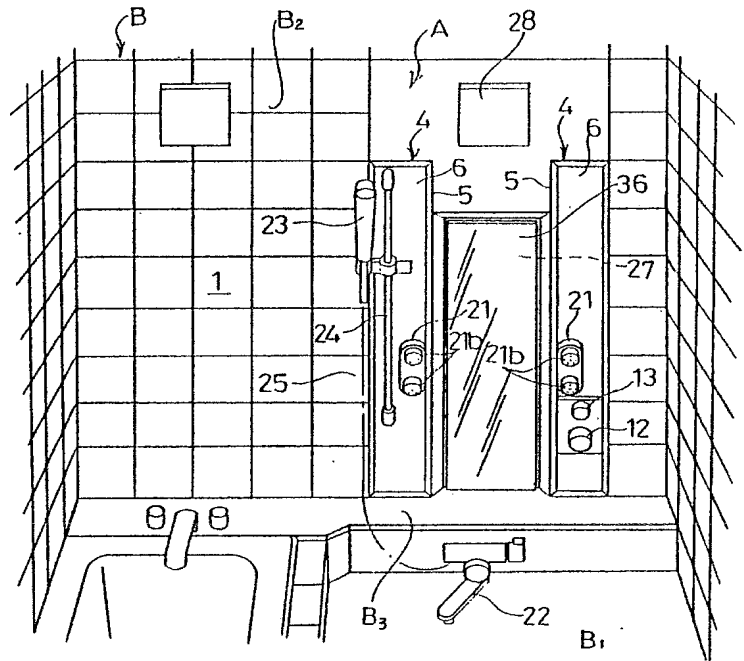
第 3 図



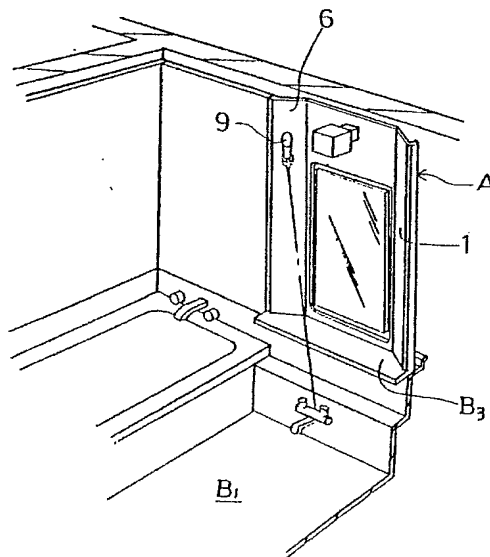
第 4 図



第 5 図



第 6 図



公開実用平成 2-13637

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-13637

⑬ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成2年(1990)1月29日

E 04 C 2/52
A 47 K 3/23
E 04 H 1/12

3 0 1

7904-2E
7705-2D
7606-2E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑭ 考案の名称 シヤワーパネル

⑯ 実 願 昭63-90875

⑯ 出 願 昭63(1988)7月8日

⑰ 考 案 者 川 勢 剛 之 神奈川県茅ヶ崎市本村2丁目8番1号 東陶機器株式会社
茅ヶ崎工場内

⑰ 考 案 者 白 鳥 昌 己 神奈川県茅ヶ崎市本村2丁目8番1号 東陶機器株式会社
茅ヶ崎工場内

⑰ 考 案 者 金 田 剛 神奈川県茅ヶ崎市本村2丁目8番1号 東陶機器株式会社
茅ヶ崎工場内

⑱ 出 願 人 東陶機器株式会社 福岡県北九州市小倉北区中島2丁目1番1号

⑲ 代 理 人 弁理士 早川 政 名

明 細 書

1. 考案の名称

シャワーパネル

2. 実用新案登録請求の範囲

洗い場に設けたカウンター部上方に位置するシャワー金具取付部をパネル本体の壁面部から洗い場に向けて突設形成したことを特徴とするシャワーパネル。

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案はユニットバスルーム、ユニットシャワールーム等の衛生設備室の洗い場壁面を構成するシャワーパネルに関する。

(従来背景とその問題点)

従来、此種壁パネルには、例えば実開昭61-137713号に開示されたユニット浴室用パネルがある。

このユニット浴室用パネルは第5図に示す如く、壁面部(1)の下端縁に洗い場(B₁)に向けて

- 1 -

突出するカウンター部（B₃）を設けてパネル本体（A）を構成し、壁面部（1）上方部位にシャワー金具（9）を取付けて洗い場（B₁）の外縁に沿って立設固定されている。

そして、入浴者がシャワー浴スペース内に立った際手を伸ばせば届く範囲内にカウンター部（B₃）を位置させて、シャワー水を浴びると同時にカウンター部（B₃）に載せた石けん、シャンプー類等を使用して洗体、洗髪を行えるようになっている。

ところが、この従来パネルによれば、シャワー金具取付面（6）がカウンター部（B₃）の突出方向後端縁上方に位置するのでシャワー浴スペース内にカウンター部（B₃）が突出し、よってシャワー水を浴びる際にカウンター部（B₃）が邪魔になるという不具合が生じていた。

（考案が解決しようとする課題）

以上の問題点を解決する為の本考案の課題は、シャワー浴スペース内へのカウンター部の突出量を低減してシャワー水を浴びる際にカウンター部

が邪魔にならないようにすることである。

（課題を達成する為の手段）

以上の課題を達成する為の本考案の手段は、カウンター部上方に位置するシャワー金具取付部を、壁面部から洗い場に向けて突設形成したことを特徴とする。

（作用）

以上の手段によれば、シャワー金具取付部の突出方向先端面がカウンター部後端縁より前方に位置し、この先端面にシャワー金具を取付けるとシャワー浴スペース内へのカウンター部の突出量が低減される。

（考案の効果）

本考案は以上の様に構成したことにより以下の効果を有する。

シャワー浴スペース内へのカウンター部の突出量が低減されるのでシャワー水を浴びる際にカウンター部が邪魔になることがなく、よってシャワー水を浴びると同時にカウンター部を利用して洗体、洗髪をより快適に行うことができる。

さらに、壁の一部が突出することによりアクセントとなり浴室内の美観を向上することができる。

（実施例）

以下、本考案の一実施例を図面に基づいて説明する。

第1図乃至第3図はシャワーパネルの使用状態を示し、図中（A）はパネル本体、（B）はユニットバスルーム、（B₁）は洗い場、（B₂）は洗い場の側壁、（B₃）はこの側壁（B₂）から洗い場（B₁）に向けて突出形成されたカウンター部である。

パネル本体（A）は合成樹脂或いはその他の材料でもって、洗い場（B₁）外縁から天井パネル（B₄）の外縁までにわたって立上がり洗い場の側壁（B₂）を構成する壁面部（1）と、該壁面部（1）周縁からユニットバスルーム（B）外方へ向けて垂直に折曲されて隣り合せた壁パネル（B₅）に連結する取合せ面（2）とを一体に成形し、前記壁面部（1）の略中央部域に取付口（3）を設け、該取付口（3）にシャワー金具取

付部（４）を取付けて構成されている。

取付口（３）はカウンター部（Ｂ_３）の上縁面付近から天井パネル（Ｂ_４）付近までにわたり、縦長形状に貫通開穿されている。

シャワー金具取付部（４）は取付口（３）に嵌合して取付口（３）口縁から洗い場（Ｂ_１）に向けて突出する側周壁（５）と、この側周壁（５）の突出方向前面を覆う取付面（６）とを一体に成形し、その中空内部をユニットバスルーム（Ｂ）の外側空間に連通する収納部（７）として構成されている。そして、側周壁（５）の後端縁を取付片（８）を介してパネル本体（Ａ）裏面側に螺着して壁面部（１）に取付けられている。また、このシャワー金具取付部（４）にはシャワー金具（９）、ボディーシャワー（１０）、操作部（１１）が取付けられている。

シャワー金具（９）はその基端部を取付面（６）の上端付近に取付け、該基端部から洗い場（Ｂ_１）に向けて突出すると共にカウンター部（Ｂ_３）の前方に向けて斜め下方に屈曲形成されるシャワー

管（9a）と、このシャワー管（9a）先端に設けられカウンタ部（B₃）の前端縁（B₆）上方に位置するシャワー水吐水口（9b）とから構成されている。

ボディシャワー（10）はその基端部を取付面（6）の中高部位に取付けカウンタ部（B₃）の前端縁（B₆）上方付近まで突出する基台（10a）、この基台（10a）によって取付面（6）短手方向と平行に支持された握り管（10b）とからなり、この握り管（10b）の前縁面にはシャワー水吐水孔（10c）を多数開孔してある。

操作部（11）は収納部（7）内に取付けた本体部（11a）と、本体部（11a）に突設され取付面（6）を貫通して洗い場（B₁）に臨む温度調節ハンドル（12）、開閉ハンドル（13）、切換ハンドル（14）から形成されている。

本体部（11a）は給湯、給水管（15）によって供給された湯、水を温度調節ハンドル（12）によって設定された所望温度に混合するサーモスタットミキシングバルブ（16）、その混合水をシャワー

金具（９）、ボディーシャワー（１０）に送る連絡管（１７）の流路を開閉ハンドル（１３）の操作によって開閉する開閉弁、上記混合水の送水方向を切換ハンドル（１４）の操作によってシャワー金具（９）側、ボディーシャワー（１０）側、シャワー金具（９）及びボディーシャワー（１０）双方とに切換える切換弁を内蔵して構成されている。

而して、サーモスタットミキシングバルブ（１６）内にて所望温度に混合した混合水を、連絡管（１７）によってシャワー金具（９）のシャワー水吐水口（９b）及びボディーシャワー（１０）のシャワー水吐水孔（１０c）へと送り、開閉ハンドル（１３）を操作してシャワー水を吐出させる。

以下に本実施例の作用を説明すると、シャワー金具（９）のシャワー水吐水口（９b）がカウンター部（Ｂ_３）の前端縁（Ｂ_６）略直上に位置し、同吐水口（９b）より吐出されるシャワー水噴出範囲（シャワー浴スペース）内へのカウンター部（Ｂ_３）の突出量が低減してシャワー浴時にカウンター部（Ｂ_３）が邪魔になる虞れをなくす。

また、温度調節ハンドル（12）、開閉ハンドル（13）、切換ハンドル（14）、ボディーシャワー（10）の取付位置と、カウンター部（B₃）前端縁（B₆）との間の間隔が小さくなり、これら金具類（12）（13）（14）（10）使用時にカウンター部（B₃）が邪魔になる虞れをなくす。

さらに、収納部（7）によってシャワー金具取付部（4）内に操作部（11）の本体部（11a）、連絡管（17）を収納状に配設する。

本実施例においては取付面（6）に温度調節ハンドル（12）、開閉ハンドル（13）、切換ハンドル（14）、ボディーシャワー（10）を設けたことにより、これら金具類（12）（13）（14）（10）の使い勝手を向上することができる。

また、本実施例においてはシャワー金具取付部（4）内に収納部（7）を設けたことにより、操作部（11）の本体部（11a）、連絡管（17）のユニットバスルーム（B）外方への突出を防いでこれら本体部（11a）、連絡管（17）をコンパクトに配設することができる。

さらに、予め取付面（６）にシャワー金具（９）及びボディーシャワー（１０）を取付けると共に収納部（７）内に操作部（１１）及び連絡管（１７）を取付けておけば、シャワー金具取付部（４）を取付口（３）に取付けるだけでパネル本体（Ａ）にシャワー金具（９）、ボディーシャワー（１０）、操作部（１１）、連絡管（１７）を配設でき、その取付けにかかる手間を省くことができる。

第５図は第２の実施例におけるシャワーパネルの使用状態を示す斜視図であり、図中（Ａ）はパネル本体でパネル本体（Ａ）の両側部に金具取付部（４）（４）を洗い場（Ｂ_１）に向って突出する側周壁（５）（５）と、この側周壁（５）（５）の突出方向前面を覆う取付面（６）（６）とを一体に成形し、金具取付部（４）の中空内部をユニットバスルーム（Ｂ）の外側空間に連通する収納部として構成すると共に上記金具取付部（４）（４）の間に鏡取付部（２７）を凹設している。

一方の金具取付部（４）にはシャワー吐水口（２１_b）を有するボディーシャワー（２１）を設けると

共にボディシャワー（21）の開閉ハンドル（13）と湯水の温度調整ハンドル（12）を設け、他方の金具取付部（4）にはシャワー吐水口（21b）を有するボディシャワー（21）と、スライド式のシャワーハンガ（24）を設けており、シャワーハンガ（24）にはカウンター部（B₃）に設けられた湯水混合栓（22）からシャワーホース（25）を介してシャワーヘッド（23）を上下方向へ摺動自在に係止できるようにしている。

ボディシャワー（21）（21）のシャワー吐水口（21b）（21b）はお互い内側に向くような形状であるが、金具取付部（4）（4）の取付面（6）（6）を内側に向くように傾斜させて成形し該取付面（6）（6）に取付けても良い。

また（28）は照明器具、（26）は鏡である。

4. 図面の簡単な説明

図面は本考案の一実施例を示し、第1図はシャワーパネルの使用状態を示す横断平面図、第2図は第1図の一部切欠正面図、第3図は第2図の（3）—（3）線拡大断面図、第4図はシャワー

金具取付部の斜視図で一部切欠して示す、第5図は他の実施例を示すシャワーパネルの使用状態斜視図、第6図は従来の壁パネルの使用状態図である。

尚、図中、

洗い場：(B₁)

カウンター部：(B₃)

シャワー金具取付部：(4)

パネル本体：(A) 壁面部：(1)

とする。

実用新案登録出願人

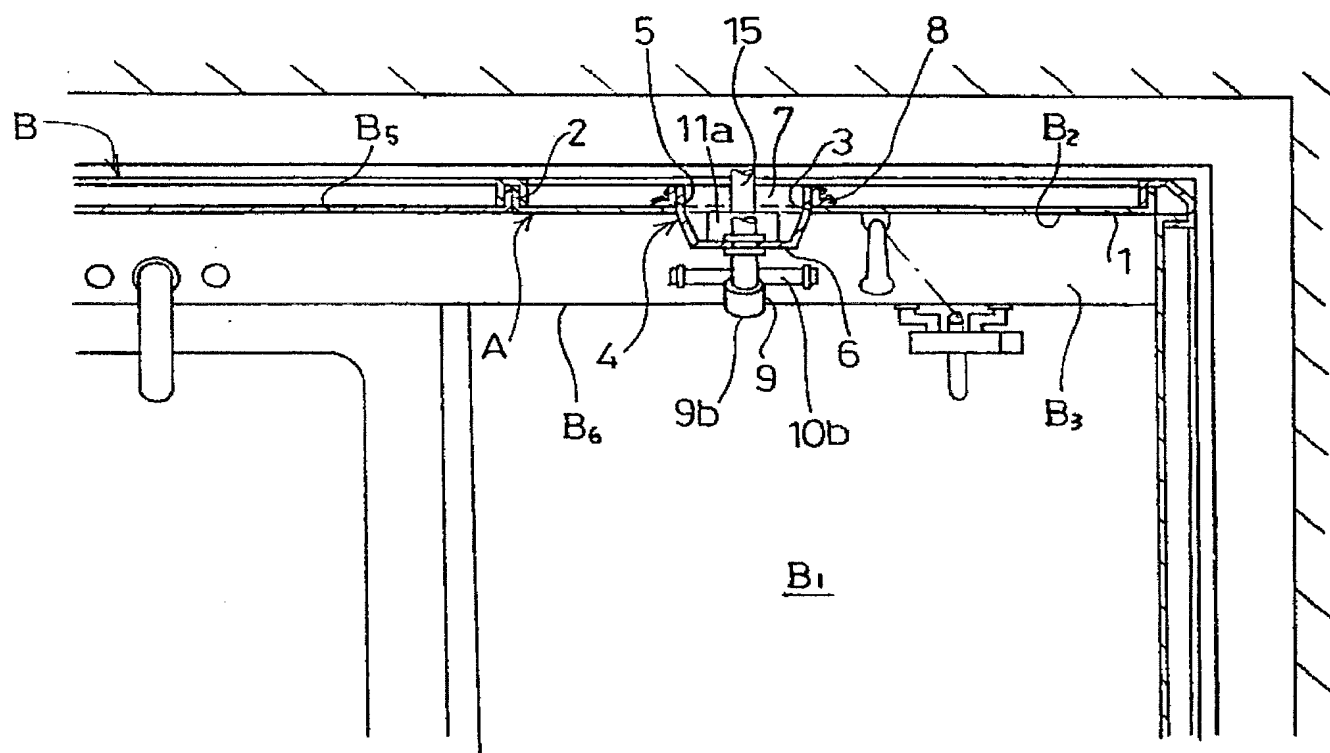
東陶機器株式会社

代理人

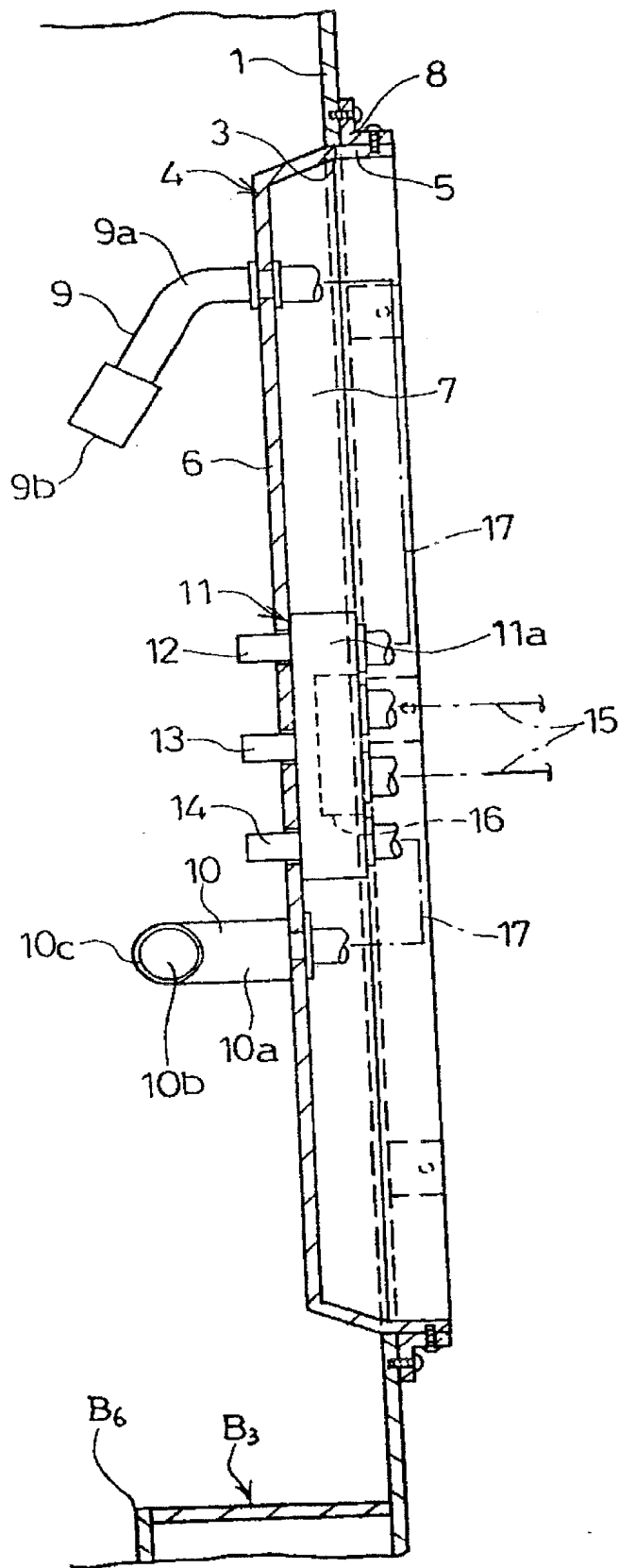
早川 政



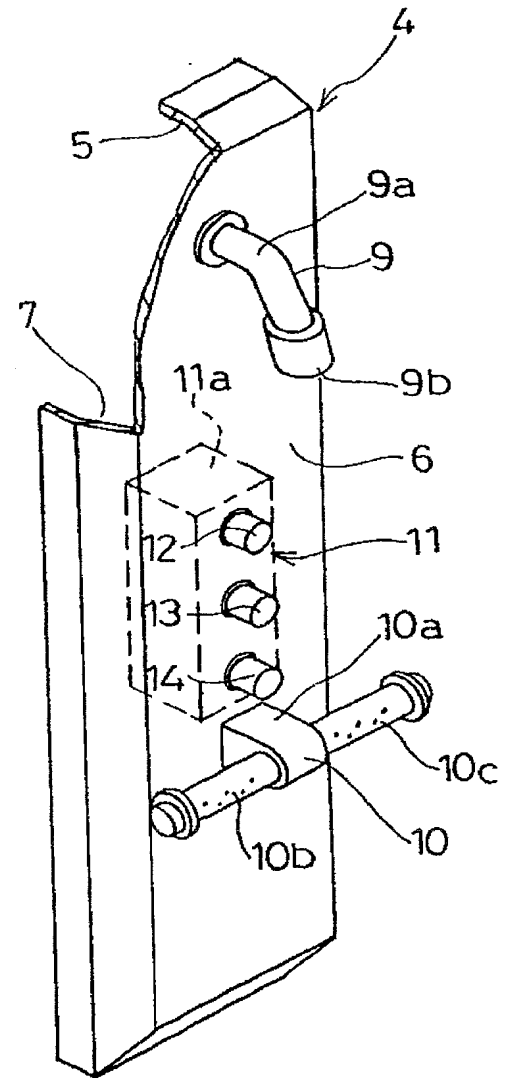
第 1 図



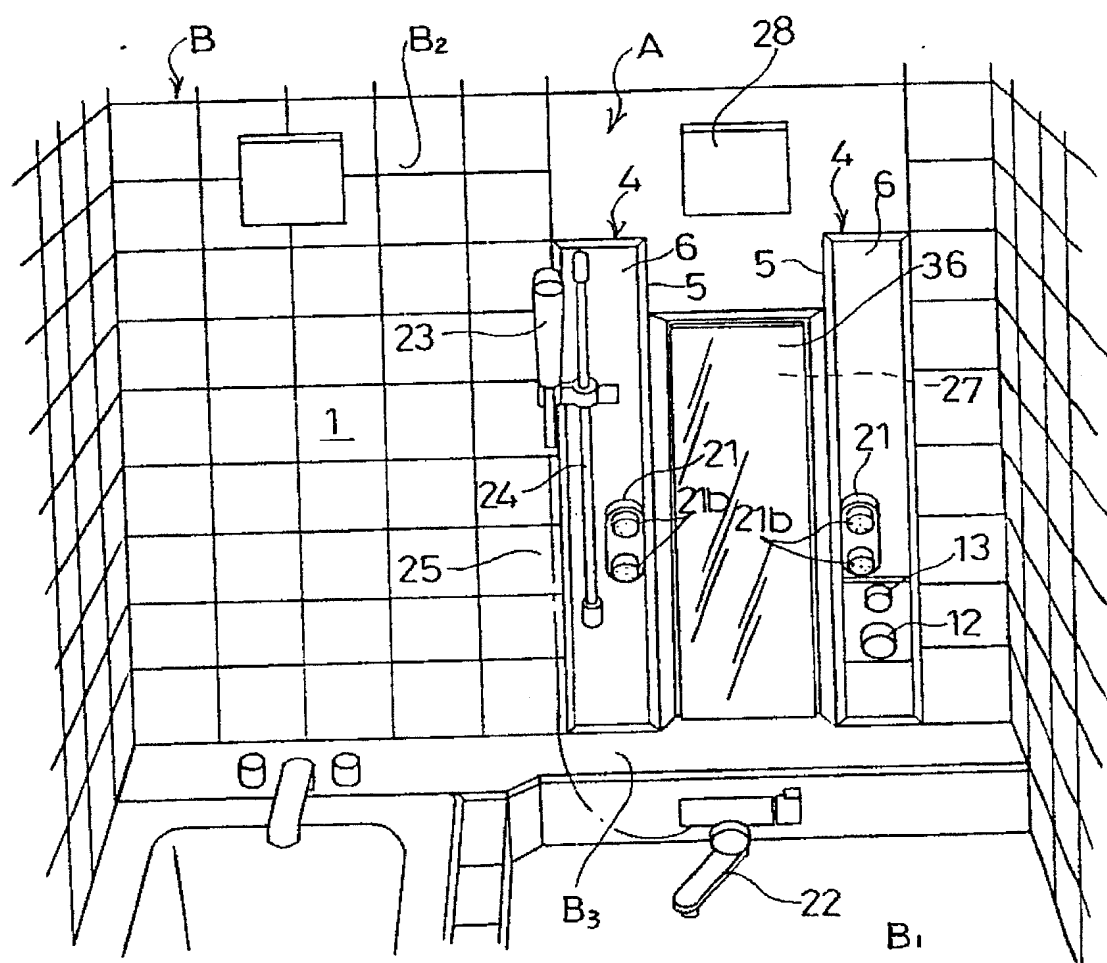
第 3 図



第 4 図



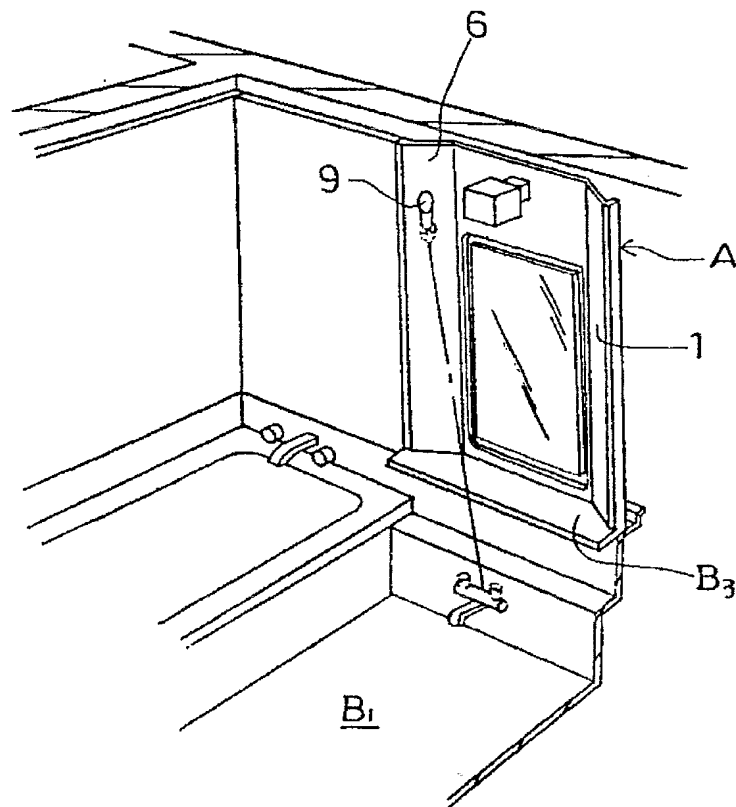
第 5 図



527

実開 2-13637

第 6 図



D4700-427